

2022年7月8日

## 2050年カーボンニュートラルを目指した取り組み 分譲マンション向け「ZEH-M仕様検討支援ツール」を開発 ～デベロッパーの要望に応じた柔軟な提案を実現～

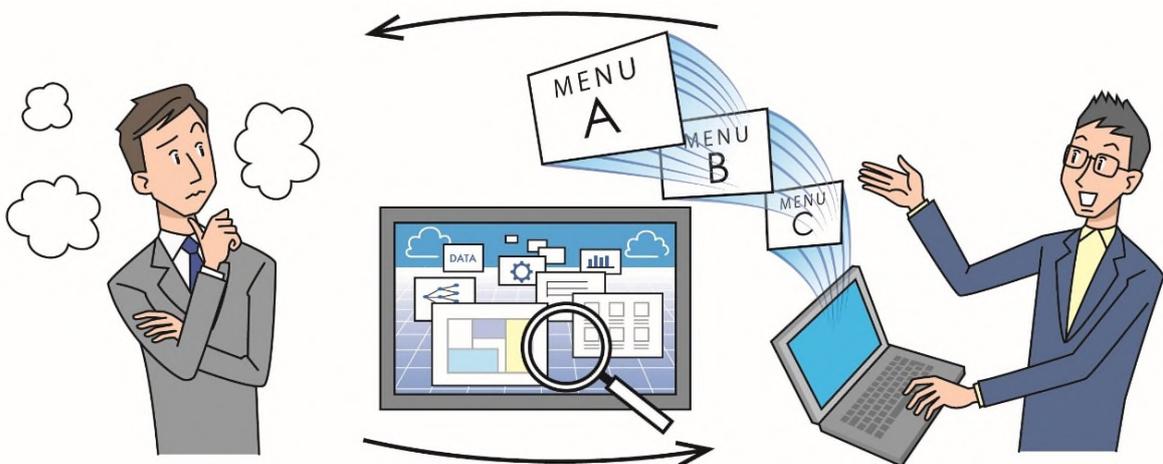
株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：池上 一夫、以下当社）は、デベロッパーの要望に応じて、ZEH-M Oriented性能基準を満たす分譲マンションを設計するための「ZEH-M仕様検討支援ツール」を開発しました。2022年1月より東京地区で、2022年4月より関西地区で本ツールを活用し、デベロッパーへの提案を開始しております。

2021年10月に経済産業省より発表された「第6次エネルギー基本計画」において、『2030年度以降の新築住宅はZEH基準の省エネ性能確保を目指す』との内容が明記され、断熱性能の向上や、高効率な設備システムを採用した省エネを実現する取り組みが加速しております。当社設計施工マンションにおいても、ZEH-M Oriented性能基準を満たす仕様の設計依頼が急増しております。そこで、今般、分譲マンションの事業方針に応じて仕様を柔軟に検討できる「ZEH-M仕様検討支援ツール」を開発し、当社の建築概算コスト算出システムと連携を図りました。これにより、デベロッパーからの事業ごとの要望に合わせた柔軟な提案に加え、タイムリーにコスト算出が可能となりました。今後、ZEH-M Oriented性能基準を満たす仕様を積極的にデベロッパーに提案し、マンションにおけるZEHの普及を促進するとともに、サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組んでまいります。

なお、当社は2021年12月16日付で制定した長谷工グループ気候変動対応方針「HASEKO ZERO-Emission」に基づき、SBTに準拠したCO<sub>2</sub>排出量削減目標を制定し、また、当社グループが2022年度以降に設計着手する全ての分譲マンション・自社保有賃貸マンションについては、ZEH-M Oriented基準を満たすこととしております。

### ■ ZEH-M仕様検討支援ツールの概要

デベロッパーの要望やお困りの内容を当社設計担当者に伝えていただくだけで、ZEH-M Oriented基準を満たす仕様の組み合わせとコストのご提案が可能です。



- ・給湯器メーカーは〇〇にしたい。
- ・床暖房は採用したい。
- ・予算内でZEH-M Oriented基準にしたい。
- ・

## ■ZEH-M 仕様検討支援ツールによる検討内容

### ① 断熱性能 (U<sub>A</sub> 値) 強化仕様の検討

「ZEH-M 仕様検討支援ツール」では、床、壁、開口部や天井に対して、住宅性能表示制度の断熱等性能等級 4 からの強化すべき断熱仕様が検討できます。

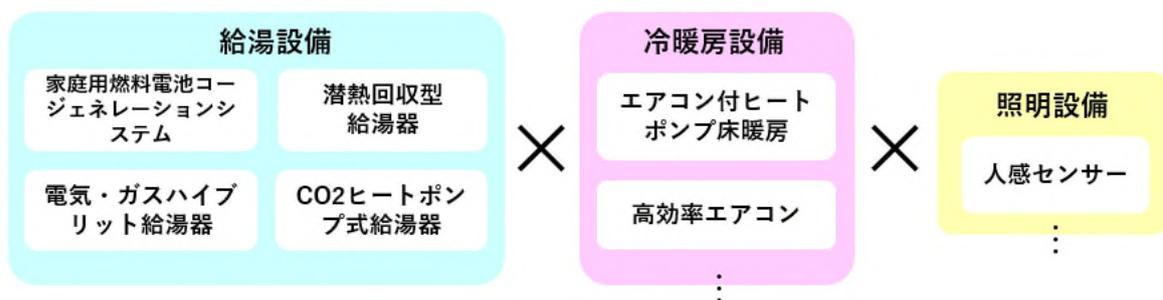


断熱仕様適用箇所イメージ

### ② 省エネ性能 (BEI 値) を満足する設備仕様の検討

「ZEH-M 仕様検討支援ツール」では、給湯設備、冷暖房設備、照明設備などにおいて、高効率の設備を組み合わせるご提案が可能です。プロジェクト毎の事業方針に沿った設備の選定が可能となります。

## 性能基準を満足する設備仕様を組み合わせた検討が可能



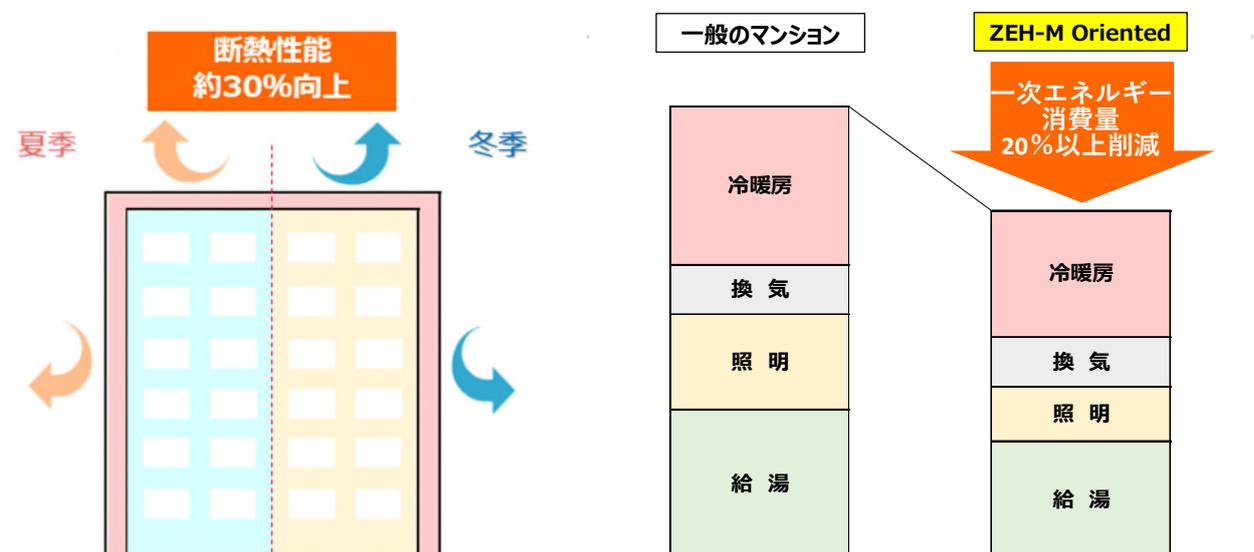
### ③ ①・②の検討結果に基づき、タイムリーに概算コストの算出が可能

## ■ご参考 : ZEH-M Oriented 性能基準

ZEH-M Oriented の性能基準は、断熱性能を示す強化外皮基準 (U<sub>A</sub> 値) ※1 を満たした上で、再生可能エネルギー等を除き、基準一次エネルギー消費量※2 からの削減率 (BEI 値) が 20%以上となる仕様。

※1…住宅全体から熱の逃げやすさを表した指標で、値が小さい程、断熱性能が高い。首都圏では 0.6 以下。

※2…冷暖房、換気、照明、給湯のエネルギー消費量



ZEH-M Oriented 基準適用時の断熱性能・省エネ性能イメージ